

令和4年7月8日（金）

広南地区は、昭和42年7月9日の集中豪雨により、31名の方が亡くなるなど、多くの被害がありました。その災害の歴史を受け継ぐとともに、これからの災害に強いまちづくりを児童生徒や地域の方々、教職員が協働して進めていくために、広南学園で、「7.9広南防災の日」祈念式を行いました。犠牲になられた方への黙とうを捧げ、誓いの碑の碑文朗読を小・中の代表者が行いました。また、地域の防災リーダーが災害当時の状況を説明し、学校や地域が一体となって、命と希望のバトンパスを繋げていこうと力強く話されました。

今日は、1学期最後のクラブ活動を行い、今学期の振り返りを行った後、楽しく活動していました。

7.9広南防災の日記念式を行いました



進行を行う中学生



小学校の代表児童がはじめての言葉を述べました



犠牲になられた方に黙とうを捧げました



小・中代表児童生徒による碑文の朗読



防災リーダーさんによるお話





誓いのメッセージを全員で言いました



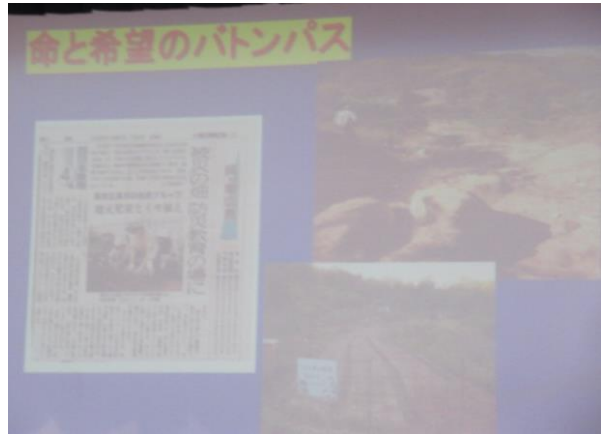
「誓いの池」のほとりに作られた「誓いの碑」



小学校の代表児童がはじめての言葉を述べました



命と希望のバトンパスを繋いでいきましょう



1学期の振り返りを行う科学・料理クラブ



水でっぼうを作った昔遊びクラブ



タブレットで絵を描くデジタルクラブ



ソフトバレーボールを楽しむスポーツクラブ

